

飯山市水防訓練	2ページ
3世代同居家族感謝事業	2ページ
悠久のふるさと飯山市懇談会	3ページ
飯山市福祉医療費特別給付金	3ページ
飯山市職員募集	4ページ
飯山市の財政事情	5ページ
飯山市第3次行財政改革の成果	7ページ
税源移譲により市・県民税が変わります	10ページ
いいやま景観賞を募集	11ページ

出水期を前に約400名が参加

平成19年度

飯山市水防訓練



平成19年度飯山市水防訓練が5月26日に中央橋下流木島側の河川敷グラウンドで行われ、消防団、赤十字奉仕団、木島地区水防団、飯山市建設業協会および行政関係団体など、あわせて約400名が参加しました。

昨年は停滞する梅雨前線により、7月の中旬から下旬にかけて雨が降り続き、千曲川の水位は、飯山観測点で過去2番目に高い水位を記録。堤防より川側の田畑やグラウンドが冠水したほか、堤防の漏水、支流の内水があふれ家屋に浸水するなどの被害が発生しています。こうした状況で水防の重要性の認識が高まっております。



△各水防工法訓練は飯山建設事務所職員が指導。参加者は真剣に訓練に取り組んだ。

今回は訓練内容に新たなものを加え、水防体制の更なる強化に向け訓練が実施されました。消防団や水防団自主防災組織など地域での災害への備えは日頃の備えがあつてこそ。参加者は実践に役立てようと真剣に訓練に取り組んでいました。

⑥赤十字奉仕団の皆さんによる炊出し訓練。



④釜段工法訓練。昨年の災害時対応状況をふまえ、今年度新たに実施。



⑥市内でも設置施設が増えているAED(自動体外式除細動器)による心肺蘇生法訓練。

昨年被害のあった堤防等13か所で復旧工事を実施中です

昨年7月の豪雨災害で被害のあった千曲川流域の復旧工事が、河川管理者である国・県によって現在実施されています。

実施されているのは、国関係では常盤小沼堤防、木島坂井堤防など10か所で護岸や漏水対応のための工事が、また県関係では岡山西大滝など3か所で護岸工事が実施されています。



△昨年の豪雨災害では、数カ所で堤防が漏水。月の輪工法等で対応した。(写真は常盤小沼堤防)

各地区の課題・意見をお聞かせください 「悠久のふるさと飯山市懇談会」

市民の皆さんとともに知恵と力を出し合う「協働するまちづくり」を進め、飯山市を一層活性化し素晴らしいふるさとにしていきたいために「悠久のふるさと飯山市懇談会」を各地区で開催します。

懇談会は「これからの飯山市」として石田市長が市民の皆さんへ語るとともに、「地区の課題・意見」として意見交換を行います。

当日は市長をはじめ理事者、部長が参加します。ぜひご参加ください。

懇談会の内容

- ・これからの飯山市(飯山市長)
- ・各地区の課題・意見

各地区の日程

会場：各地区活性化センター
(飯山地区は飯山市公民館)

地区	日時
飯山	8月6日(月) 午後7時～
秋津	7月10日(火) 午後7時～
木島	8月20日(月) 午後7時～
瑞穂	7月31日(火) 午後7時～
柳原	8月8日(水) 午後7時～
富倉	8月22日(水) 午後2時～
外様	8月24日(金) 午後7時～
常盤	6月26日(火) 午後7時～
太田	7月6日(金) 午後7時～
岡山	7月11日(水) (予定)

※詳しい日程は、開催日に合わせ別途地区ごとにお知らせします。

いいやま住んでみませんか!プロジェクト

<目的、概要>

飯山の自然、文化、歴史に恵まれた環境を活かし、「いいやま住んでみませんか」が中心となり、移住・定住策を積極的に進め地域経済および地域活性化を図るものです。

<具体的な成果目標>

飯山市自立計画の柱「人口2万5000人の維持とさらなる増加」とおり、25000人の維持を目指します。

<プロジェクトを構成する具体的な事業>

- ・移住、定住推進事業 4,700万円
(19年度1,050万円)
- ・移住、定住支援住宅促進事業 1億2,000万円
(19年度2,450万円)
- ・ふるさと回帰支援事業 1,500万円
(19年度380万円)

いいやま【雪ん子】応援プロジェクト

<目的、概要>

雪国いいやまの「雪ん子」を応援し、子育て世代の支援による定住・移住、そして飯山で育ち飯山を支える未来の飯山人の応援をするものです。

<具体的な成果目標>

現在、人口2万5000人に対し毎年の出生数が200人前後ですが、今後も200人を維持し、更に増加を目指します。

<プロジェクトを構成する具体的な事業>

- ・子育て応援事業 1億9,340万円
(19年度2,420万円)
- ・乳幼児医療給付事業 1億3,800万円
(19年度2,300万円)
- ・子育て支援事業 1,500万円
(19年度930万円)

今年度は2つの事業を実施します

頑張る地方に国が支援する「頑張る地方応援プログラム」に独自の施策展開により「魅力ある地方」に生まれ変わるよう、独自のプロジェクトを自ら考え、前向きに取り組む地方自治体に対し、平成19～21年度の3年間、国がプロジェクト経費について支援をする「頑張る地方応援プログラム」に、今年度飯山市では次のとおり応募しました。

「3世代同居家族」に感謝し温泉入浴券を配布します

3世代同居家族感謝事業

少子高齢化の進行とともに、各世帯の人員の減少も顕著となっており、更なる少子化の進行や、子供・若者・高齢者の孤独化が懸念されています。

こうした状況の中、子育て・家計支出・高齢者介護等を家族で助け合いながら生活する3世代同居家族には、まさに自助と共助を家庭で実践することにより、地域社会に大きく貢献していただいています。

市では3世代同居家族に感謝を申し上げます。理想的な家族像として、広く市民の皆さんにご理解いただくため「3世代同居家族感謝事業」を実施します。



■対象

平成19年4月1日現在で、18歳以下の方が1人以上いて、3世代以上が同居している世帯。(実態は同居であっても世帯分離している場合は該当となりません。)

■内容

ご家族揃って入浴をし、日ごろの疲れを癒していただくため、市内の温泉施設の入浴券2400円分を配布します。 ※対象となる世帯には、6月下旬に市から入浴券を送付させていただきます。

■補助券の使用期間

平成19年7月1日～20年1月31日

■お問い合わせ

市役所企画財政課企画調整係
☎62-3111 内線391